

『ローカル5G入門ガイドブック』公開 —導入にあたって押さえるべきポイントをわかりやすく解説—

5Gやローカル5Gを社会浸透させ、社会のDXを推進するためには、情報を正確・丁寧に伝えて、ユーザー企業や地方公共団体の理解を促進させることが重要です。

ユーザーの理解促進と市場拡大

5G利活用型社会デザイン推進コンソーシアム(5G-SDC、座長：森川 博之 東京大学大学院工学系研究科教授、事務局：JEITA)は、ローカル5Gの導入を検討しているユーザーや今後の利活用が期待される分野のユーザー向けに情報をまとめた『ローカル5G入門ガイドブック』を発行し、Webサイトにて公開しました。

ローカル5Gに対するユーザーの理解促進を支援することで、今後の市場拡大に繋がっていきます。

本ガイドブックの特徴

これまで情報通信業界との接点が少なかったユーザーでも理解しやすいように、専門用語の注釈も交えながらローカル5G導入検討に必要なポイントを平易な文章で解説しています。

特に製造分野向けが需要を牽引すると予測されていることから、本ガイドブックでは、導入事例として製造現場をはじめとする工場での活用例を取り上げていますので、ローカル5Gの入門ツールだけでなく、提案する事業者の営業ツールとしてもご活用ください。

今後の取り組み

今後、5G-SDCは活動分野を広げ、多様なステークホルダーとのオープンな検討体制を構築することで、事業創出や市場の活性化に繋がっていきます。

また、会員間連携サービスを提供し、人脈形成やパートナー探し、ボトルネックの共有や解決を支援することによって、業界・業種の垣根を越えた共創を推進します。

■コンソーシアムWebサイト

事業計画や会員一覧、入会案内等を掲載しています。今後は5G関連のニュースなども配信予定です。



<http://5g-sdc.jp>

刊行物のご案内



『ローカル5G入門ガイドブック』
2021年6月1日公開

- 主な目次
 - ・第5世代移動通信システム(5G)とは
 - ・キャリア5Gとローカル5Gのちがいがい
 - ・ローカル5Gの利活用が期待される分野
 - ・5G実現に向けたロードマップ
 - ・ユースケース(工場における導入事例)
 - ・導入検討からサービス開始までのスケジュール
 - ・運用時のトラブル対策
 - ・免許制度の必要性と申請時の留意点
 - ・5G投資促進税制・関連諸制度

■ダウンロード(無償)
<https://www.5g-sdc.jp/news/20210601.html>